

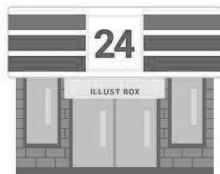
## 令和3年度に向けた出納局の施策の基本方針

令和2年11月定例会(付託)  
総務委員会資料  
出納局

～デジタル化の加速による「県民サービスの向上」と「バックオフィス業務の効率化」～

## ◆ キャッシュレス決済の推進

- 自動車関係OSSに必要な電子収納基盤(MPN共同利用センター)整備
- 一般歳入金のコンビニ・ATM収納、パソコン・スマホ決済の導入

県民のライフスタイルに応じ、  
24時間365日納付可能

## ◆ RPA、AI-OCRの活用促進

- スマート県庁推進課と連携し、適用業務の拡充
- 監査調書作成業務をはじめ、汎用性の高い業務への適用推進

定型業務の自動化、  
スマート会計の進化

## ◆ 大規模災害時の資金安定供給体制の構築

- リモート相談・支払データ送信訓練等、関係機関と連携した訓練の深化
- AI資金コンシェルジュの精度向上

災害対応力の強化により  
県民の安全・安心

## ◆ 電子決裁の段階的導入

- 物品購入決議簿システムをすべての庁で本格運用
- 調定業務、支出関係業務に順次導入

ペーパーレス化の促進、  
テレワーク環境の整備

## ◆ 工事検査の効率化と技術継承

- タブレット端末の活用による現場完結型検査の実践
- 検査時指導事項をAI-FAQに順次蓄積し、アドバイス機能を充実

検査員の知見を若手技術者に  
継承、公共工事の品質向上

## ◆ 全庁的な未収金対策の推進

- 新たな削減目標(R5:36億円台)の達成に向けた取組の強化
- 収納手段の多様化、キャッシュレス化推進による収納率の向上

県民負担の公平性、  
歳入確保